

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成25年1月24日 (2013.1.24)

【公表番号】特表2012-511532(P2012-511532A)

【公表日】平成24年5月24日 (2012.5.24)

【年通号数】公開・登録公報2012-020

【出願番号】特願2011-540027(P2011-540027)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/49 (2006.01)

A 6 1 K 31/55 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/455 (2006.01)

A 6 1 Q 19/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/49

A 6 1 K 31/55

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 K 31/455

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 Q 19/02

【手続補正書】

【提出日】平成24年11月30日 (2012.11.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) アセチルコリンエステラーゼ阻害薬である皮膚明色化添加剤から本質的に成る皮膚明色化剤；および

(b) 化粧用に許容される担体；
を含む化粧用組成物であって、

明色化を所望する皮膚に局所塗布された後に皮膚を明色化し得、前記アセチルコリンエステラーゼ阻害薬はガラントミンを含むものである、化粧用組成物。

【請求項 2】

組成物が 1,2-ヒドロキシステアリン酸をさらに含む、請求項 1 に記載の化粧用組成物。

【請求項 3】

皮膚明色化添加剤が、皮膚明色化剤の重量で約 75 から約 100 % を構成する、請求項 1 に記載の化粧用組成物。

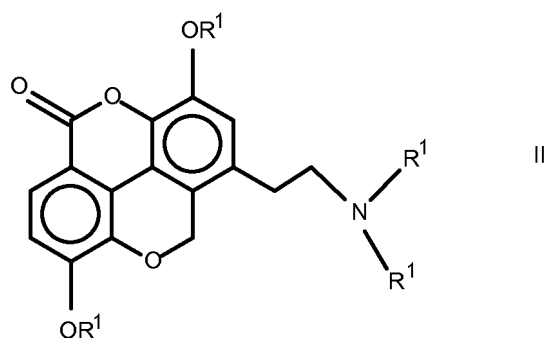
【請求項 4】

皮膚明色化添加剤が、化粧用組成物の重量で約 0.01 から約 15 % を構成する、請求項 1 に記載の化粧用組成物。

【請求項 5】

皮膚明色化添加剤が、式 I I :

【化 1】



[式中、

各 R^1 は独立して、H、 $C_1 - C_6$ 直鎖、分枝もしくは環式アルキル、 $C_2 - C_6$ アルケニル、またはアリールである] によって表される化合物、またはその塩をさらに含む、請求項 1 に記載の化粧用組成物。

【請求項 6】

皮膚明色化剤が、ナイアシンアミド、ビタミン C、レゾルシノール、クズ抽出物、カモミール抽出物、ノコギリソウ抽出物、またはそれらの混合物である皮膚明色化源をさらに含む、請求項 1 に記載の化粧用組成物。

【請求項 7】

皮膚明色化添加剤が、ガラントミンおよび／または式 I I の塩である、請求項 5 に記載の化粧用組成物。

【請求項 8】

化粧用組成物が、抗酸化剤、共役リノール酸、ペトロセリン酸、 α および／または β ヒドロキシ酸、レチノイド、またはそれらの混合物をさらに含む、請求項 1 に記載の化粧用組成物。

【請求項 9】

化粧用組成物が、局所塗布に好適である、請求項 1 に記載の化粧用組成物。

【請求項 10】

式 I I によって表される化合物が、タスピンである、請求項 5 に記載の化粧用組成物。

【請求項 11】

化粧用組成物が、サンスクリーン、ナイアシンアミド、またはその混合物を含む、請求項 1 に記載の化粧用組成物。

【請求項 12】

皮膚を明色化する方法であって、明色化または美白化が所望される皮膚を同定すること、および前記皮膚を明色化または美白化するために、請求項 1 に記載の化粧用組成物を局所塗布すること、を含む、明色化方法。

【請求項 13】

化粧用組成物が、ナイアシンアミドをさらに含む、請求項 12 に記載の皮膚を明色化する方法。